



✉ 編集チームより ✉

秋が深まり、紅葉に見惚れて前方不注意で事故が発生なんてことがないように！
運航中に少しでも危ない場面があったら、ピーきちがイタズラしちゃうぞっ (by 担当K)

お菓子
頂戴ッピ！



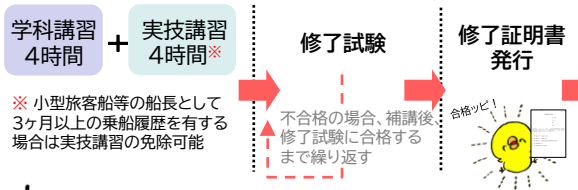
小型旅客船・遊漁船の船長さん /

特定操縦免許の切替え手続きはお早めに!! <2026年3月末まで!>

2024年4月から、小型旅客船・遊漁船の船長業務に必要な「特定操縦免許」に関する制度が改正され、免許取得に必要な講習内容の拡充と講習修了時の修了試験の導入が図られるとともに、**履歴限定制度が新設**されました。(2026年3月末までは経過措置期間)

2024年3月末までに旧特定操縦免許を取得した方が、2026年4月以降も小型旅客船・遊漁船で船長業務を行うには、**2026年3月末までに「移行講習」を受講し、免許の切替え手続きを完了**する必要があります。

移行講習機関にて移行講習の受講



切替え手続き申請

地方運輸局での切替え手続きに必要な書類

- ・操縦免許申請書
 - ・今お持ちの小型船舶操縦免許証
 - ・証明写真(縦4.5cm×横3.5cm)
 - ・登録免許税(1級2,000円、2級1,800円分の収入印紙)
 - ・移行講習修了証明書
- 乗船履歴を証明する書類【履歴限定解除のみ】

手続き完了!



まだ時間があると思って後回しにしている人もいませんか？

講習機関によっては、満員で1ヶ月待ちの場合もあるそうですよ!

すぐに受講できるかわからないし、余裕を持って行動した方がいいツピね

ネコ室長からのお願い

3月末にかけて、講習の受講や地方運輸局への申請が集中する可能性があります。早めに講習機関へ問い合わせ・予約を行い、**計画的な切替え手続き**にご協力をお願いします!

制度改正について詳しくはこちら ▶ https://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_mn10_000004.html



★★ わが街ふなたび航路自慢 ★★ ～中部運輸局編～

今回は、中部運輸局海上安全環境部より、三河路と伊勢路を結ぶ「海のバイパス」として、鳥羽～伊良湖間を約1時間で運航する伊勢湾フェリー(株)をご紹介します!

鳥羽～伊良湖航路は、鳥羽水族館などの観光施設から徒歩圏内にあり、自家用車が搭載可能なカーフェリーのため、関東・静岡方面から伊勢神宮へのアクセスも便利

運がよければ運航中に野生のイルカやスナメリに出会える事も...

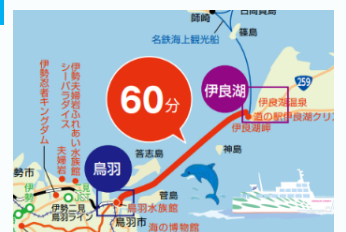
伊勢湾フェリー(株)HP <https://www.isewanferry.co.jp/>



安全への取組み

事故対応訓練や津波避難訓練などの各種訓練を計画的・継続的に実施し、ミーティングにて訓練内容の振り返り、効果検証を行うことで訓練の実効性を高めています!

最近では、新しい取組としてブラックアウト発生時対応訓練を実施し、緊急時における体制の充実・強化を図っています。



<鳥羽～伊良湖岬航路>

就航船舶

鳥羽丸
2,410トン
旅客定員480人



伊勢丸
2,333トン
旅客定員500人

知多丸
2,331トン
旅客定員500人



安全運航いろはカルタ

出典：(公社)日本海難防止協会「安全運航のいろは」

と

ヒヤリハット、それはまさしく、「ヒヤッ」と背筋が寒くなったり、「ハッ」と心臓に悪いような状態になること。

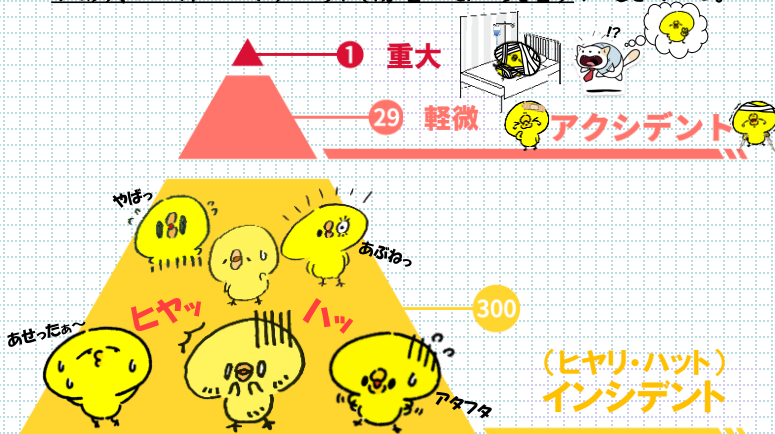
ヒヤリハットを経験した際、「大事にならなくて助かった」とホッとしてそのままにいませんか？

いくら注意していても人間に油断とミスは付き物。ヒヤリハットを経験したら、その経験を事故防止に役立てましょう！

社内で共有することはもちろん、勉強会を開いて「なぜなぜ分析」をやってみることもオススメです。

～ハインリッヒの法則～

重傷以上の災害1件の背後には、29件の軽傷を伴う災害があり、300件のヒヤリ・ハット(傷害のない災害)が起きている。



突然のめや汗
ヒヤリハット



やってみよう！

なぜなぜ分析

発生した事故・ヒヤリ・ハットについて、それを発生させる原因を、順序を追って「なぜ？」「なぜ？」と考えることにより、網羅的に把握する分析方法。

なぜなぜ分析のやり方

1. なぜなぜ分析の目的を決めて、詳しい情報収集を行う

「根本原因究明のため」に行う場合

事故やヒヤリハットを報告した本人と管理者が、1対1で掘り起こしていきます。当事者の内心の状態も含めて、正確な事実関係を掴みましょう。



「教育のため」に行う場合

ある程度の事実関係を元に、その事故やヒヤリハットの原因について発生する可能性のある出来事を自由に話し合い、日常業務の中でどのような注意を行うべきか、一人一人の意識付けを行います。

2. なぜなぜ分析を書く

①発生した事故、ヒヤリ・ハットの内容

一番左に、分析しようとする事故、ヒヤリ・ハットの内容を簡単に書く。(例：フェリーと漁船が接触した など)

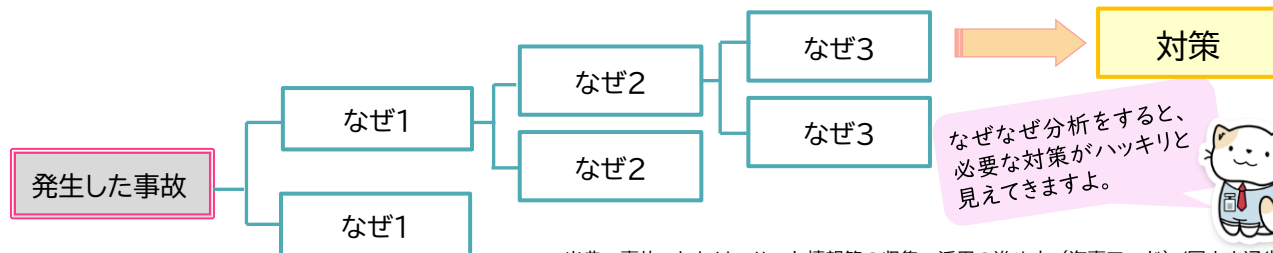
②「なぜ1」

事故に直接つながる出来事を簡単に書く。(例：相手船に気付くのが遅れた、操作を間違った など)

③「なぜ2」以降

「なぜ1」が発生した原因は何か、「なぜ2」が発生した原因は何かと繰り返し、対策に繋がるまで詳しく掘り起こす。
ポイント ④ 特に当事者の船員が「なぜなぜ分析」をすると、「自分がどうしたらよかったか」に傾きがちなため、以下の5つの視点から幅広く考えましょう！

1. 本人(船員)の原因 2. 相手側の原因 3. ハード面の原因 4. 周囲の環境の原因 5. 管理上の原因



出典：事故、ヒヤリ・ハット情報等の収集・活用の進め方（海事モード）/国土交通省

■本メールマガジンに関するお問合せ先

国土交通省海事局安全政策課安全監理室

✉ hqt-umimaga@ki.mlit.go.jp

読者登録は
こちら！！



登録フォーム